



看護 とちぎ



ラッピングバス 5/11 11:30 県庁

CONTENTS

- ❷ 2022年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会
令和4年度 新役員紹介
- ❸ 第32回看護の日記念行事
第36回栃木県看護大会知事表彰受賞者
- ❹ 第36回栃木県看護大会大会長表彰受賞者
- ❺ 第36回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者
- ❻ 令和4年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿
- ❼ 特集 今年の各委員会事業計画
- ❽ 「看護の日・看護週間」PRバス出発式
安足地区とちぎ訪問看護ステーションあしかが
- ❾ 熱中症予防×コロナ感染防止 熱中症を防ぐために屋外ではマスクをはずしましょう
- ❿ ナースセンター通信
- ⓫ 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 栃木県看護協会

会員数 11,842人 (R4.7.31現在)



2022年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会



6月25日(土) 栃木県教育会館大ホールにおいて、令和4年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。

会員数 11,736 名中、理事役員 20 名、本人出席 168 名、委任状 9,114 名、合計 9,302 名で通常総会は成立しました。

議長団の円滑な議事進行により提出議題は全て可決・承認されました。議事終了後、新役員を紹介・旧役員への花束贈呈と謝辞が行われ閉会となりました。

午前中には、各職能集会及び講演会が開催されました。保健師職能では、自治医科大学看護学部教授 春山早苗氏による講演「コロナ感染症対策～これまでの公衆衛生現場におけるコロナ対策とこれから～」がハイブリッドで行われ、42 名が参加しました。また、助産師職能・看護師職能は合同で昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 副島賢和氏による講演「涙も笑いも、力になる～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～」を行い、145 名が参加しました。



令和4年度 理事会



令和4年度 新役員紹介

役員としての抱負



理事
自治医科大学
附属病院
田中 純

新任理事として皆様のお力をお借りし、一つ一つの課題にしっかり取り組み責務を果たせるよう頑張ります。



理事
日光市民病院
井上 和子

新任理事(県西地区支部長)として、看護の質向上のため地域の声を反映した活動ができるよう努めて参ります。



理事
済生会
宇都宮病院
小林阿由美

宇都宮地区支部事業を、皆様のご協力をいただき進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



監事
自治医科大学
附属病院
大海 佳子

「すべての出来事は、あなたへのギフトである」。多くの人との出会いや学びを得ることと捉え、精進致します。

第32回「看護の日」記念行事

5月21日(土)とちぎ健康の森多目的フロアにおいて、「いのち、暮らしを、まもる人」をテーマに第32回「看護の日」記念行事が開催され、109名の中・高校生の参加がありました。

高校生による「ふれあい看護体験」の発表や大学・専門学校による「看護学校進路相談会」の他、「看護体験」コーナーが設けられ、妊婦体験、片麻痺体験、高齢者疑似体験、白衣体験等が行われました。これらの体験を通し、次世代を担う多くの学生に「看護すること、助け合うこと」の重要性をアピールし、看護職への理解と関心を深めてもらえたのではないのでしょうか。



第36回栃木県看護大会知事表彰受賞者 (所属施設は令和4年3月31日現在)



済生会
宇都宮病院

穂高 律子

継続することで「できる」「わかる」が増え、どうせやるなら「楽しく」、これが私の大切にしていることです。



国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校

金澤 優子

「感謝」を持って人(ひと)との出会いと繋がりを大切にします。出会った方のお役に立てるよう努めて参ります。



国際医療福祉
大学病院

櫛田恵津子

「おかげさま」の心を忘れず、人々のつながりを大切に看護の道を歩んでいきたいと思っています。



宇都宮西が丘病院

大氣 隆史

こころを病む患者様の苦しみや苦悩に寄り添って、少しでも病状安定に繋がるよう、多職種と地域連携を図り、社会復帰を支援して行きたい。



小山市自然育児相談所

伊東 厚子

ラクで楽しい母乳育児の普及を通じて、母子と家族の健康を守り、次世代へと継承するサポートを続ける事。

第36回栃木県看護大会大会長表彰受賞者 (所属施設は令和4年3月31日現在)

私の信念

獨協医科大学病院
飯野 佳美

「信念」は英語で「belief」や「faith」、「信じる」という気持ちを表します。チームを信じ、信じてもらえる人でありたいと思います。

とちぎメディカル
センターしもつが
植木 和枝

42年地域医療に貢献し患者や家族により沿う看護を行ってきました。この信念を持ち進んでいきたいです。

上都賀総合病院
大嶋 栄子

自分に正直であること、周囲の人々への感謝の気持ちを持ち続けることで『ケセラセラ』と常に思っています。

西方病院
小川 洋子

「何事にも感謝の気持ちを忘れない」という事です。起きた事柄は全て自身の為になると真摯に取り組んでいます。

自治医科大学
附属病院
笠野佳代子

出会った人が、笑顔になれるよう心を込めて接すること。笑顔でいると笑顔に出会えると信じています。

済生会宇都宮病院
看護専門学校
今野 芳子

「為せば成る～為さねば成らぬ何事も～」子供の頃に口ずさんだアニメの曲。今でも私の原動力になっています。

宇都宮市役所
齋藤 雅子

心身共に健康であること、何事にも誠実に平常心を心がけること自分にできることを懸命に行っています。

足利赤十字病院
塩田 利江

優しさと思いやりの心を忘れずに、人を大切にしていきたい。いつも笑顔で朗らかに！

獨協医科大学病院
戸崎 幸子

「努力すれば必ず報われる」です。人一倍努力が必要で、あきらめずにコツコツ行うように心がけています。

さくら訪問看護
ステーション
鳥居 香織

「大切なものを共に考え、共に大切にし、大切にする方法を考え続けること」を心がけています。

那須赤十字病院
人見 優子

私の信念は小さなタスクも誠意を持って対応することです。周囲の信頼を築けるような仕事を心がけています。

獨協医科大学病院
平野 正江

人と人との出会いを大切にし、常に相手の立場になり、相手の気持ちに寄り添うことを心がけています。

報徳会
宇都宮病院
田崎 浩之

「患者の代弁者であれ」患者、家族の声に耳を傾け、寄り添い最善の看護を提供出来るよう心掛けています。

自治医科大学
看護学部
谷田部典子

皆様に支えられ今があることに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



第36回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者 (所属施設は令和4年3月31日現在)

私の信念



佐野厚生総合病院
秋澤 幸子

多くの方に支えられ感謝しています。笑顔と思いやりの心を忘れず看護していきたいと思えます。



足利市役所
阿部 有子

好奇心のアンテナを高く掲げ、看護職としての志を強く持ち、昨日の自分を1%でも超えていけるように努める。



足利赤十字病院
井上 澄子

感謝の気持ちと多くの人に支えられていることを忘れずに、今の私ができることを一生懸命に行うこと。



自治医科大学
附属病院
太田 信子

相手の立場に立って考え、自分が嫌なことを相手にしないということです。そしていつも笑顔を忘れない。



那須赤十字病院
大高恵美子

仲間に支えられ働けたことに感謝すると共に、前向きに相手の気持ちをくみ取ることが出来る看護者でいること。



自治医科大学
附属病院
栗原日登美

柔軟な心とポジティブシンキング。常に前を向いて歩んでいくことをモットーにしています。



芳賀赤十字病院
小池 順子

「信じる者は救われる」を信念に、先輩方の教えを信じ看護を続けてきました。後悔のない看護師人生です。



とちぎメディカル
センターしもつが
小谷 令子

健康と家族の協力があり、40年以上看護職として働く事が出来、今後も続けて行きたいと思えます。



栃木県立
がんセンター
小林ひとみ

「一期一会」という言葉がある。過ぎた日は2度と巡ることはない。全ての出会いに感謝し真摯に向き合いたい。



とちぎメディカル
センターとちのき
小藤 妙子

私は「一期一会」、人とのふれあいを大切にしています。皆様のおかげで働き続けられたことに感謝致します。



真岡病院
小堀 幸子

人との出会いを大切に、患者・家族に寄り添い、優しく接するよう心掛けています。



日光市役所
斉藤 範子

笑顔を忘れず、人との出会い、人とのつながりを大切に、今後も精進していきたいと思えます。



芳賀赤十字病院
島田 郁子

「自分の家族と思って看護する」を心に、患者様に寄り添う看護を実践し、今日の日を迎える事が出来ました。



那須中央病院
鈴木 晃世

『継続とは進化しつづけること』健康で、周囲に支えられ看護の仕事が続けられることに感謝です。



第36回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者 (所属施設は令和4年3月31日現在)

私の信念



日光市民病院
鈴木久美子

個々に合った看護ができるように、まず患者様や家族の想いを傾聴し、寄り添い見守っていくことです。



真岡病院
滝沢 明美

相手の立場に立って考えるということを忘れず、今後も看護していきたいと思えます。



自治医科大学
附属病院
竹野井さとみ

患者さんやご家族には「自分の家族だったらどうしてほしいか」という思いで真摯に向き合っていきたいと思っています。



佐野厚生総合病院
館野 雅子

協同の精神と思いやりの心を持ち、人との出会いを大切に、楽しく仕事をする心を心掛けています。



とちぎメディカル
センター訪問看護
ステーション
塚原久美子

利用者・家族の意思や価値観を尊重し、その人らしく療養生活が安心して送れるよう援助することです。



宇都宮市役所
長島 容子

まず傾聴することを心がけています。今まで多くの人に支えられてきたことに感謝し今後も精進していきます。



芳賀赤十字病院
畑山美也子

喜怒哀楽ありましたが、感性を大切にしています。これからも感動的な体験をしていきたいです。



上都賀総合病院
福田美智子

看護職として、初心を忘れず、常に向上心を持ちながら、ゆとりある心で対応して行きたいと思えます。



介護老人保健施設
わたのみ荘
藤枝久美子

どんな時も笑顔と優しさでそばに寄り添い安心をあたえられるかわりを心がけています。



那須赤十字病院
益子ひろみ

基本を大切に、根拠に基づいた看護を意識し、常に患者様に寄り添える看護師でありたいと考えています。



国際医療福祉大学
塩谷病院
増淵 恵子

看護師として、責任感を持ち、誠実に取り組むことを常に心がけています。今まで関わりのあった人達に感謝の気持ち忘れません。



済生会宇都宮病院
村山久美子

相手に寄り添うことです。立場や状況を自分に置き換え、気持ちを理解し行動して行きたいと思っています。



獨協医科大学病院
吉田美知子

自分の周りのすべてのものに感謝しながら、自分ができることを精一杯努力して邁進すること。これが私の信念です。



令和4年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

令和4年6月25日現在

役員名

役職名	氏名	施設名
会長	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	山口久美子	獨協医科大学看護学部
副会長	増淵美樹	宇都宮市保健センター
専務理事	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	田沼かおり	栃木県県南高等看護専門学校
助産師職能理事	田中純	自治医科大学附属病院
看護師職能理事	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
理事	杉本友子	那須中央病院
〃	勅使河原由江	足利赤十字病院
〃	福田裕美子	とちぎメディカルセンターしもつが
〃	三橋明美	芳賀赤十字病院
〃	片寄典子	栃木医療センター附属看護学校
〃	井上文子	那須赤十字病院
〃	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
〃	向田千津	佐野厚生総合病院
〃	山口美奈子	新小山市市民病院
〃	井上和子	日光市民病院
〃	小林阿由美	済生会宇都宮病院
〃	相田奈津江	宇都宮リハビリテーション病院
監事	大海佳子	自治医科大学附属病院
〃	佐々木隆	税理士法人アミック&パートナーズひまわり事務所

	役職名	氏名	施設名	
助産師職能委員会	委員長	田中純	自治医科大学附属病院	
	委員	塚田祐子	自治医科大学附属病院	
	委員	氏家由美子	国際医療福祉大学病院	
	委員	松田直美	新小山市市民病院	
	委員	渡辺悦子	那須赤十字病院	
	委員	南雲佐苗	芳賀赤十字病院	
	委員	増淵香代子	獨協医科大学病院	
	委員	松本祥子	済生会宇都宮病院	
	看護師職能委員会	委員長	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
		委員	磯部由美子	国際医療福祉大学塩谷病院
委員		生井郁子	獨協医科大学病院	
委員		檜山孝子	栃木県立がんセンター	
委員		直井好子	老人保健施設わたのみ荘	
委員		濱本明代	公益社団法人栃木県看護協会	
委員		黒崎雅子	訪問看護ステーション星が丘	
委員		関口千恵	御殿山病院	
委員		石崎礼子	芳賀赤十字病院	
委員		三田典子	足利赤十字病院	
委員		藤田みかる	とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ	
委員		石野浩史	介護老人保健施設にしかた	
委員	岡本順子	済生会宇都宮病院		
委員	小畑美加子	自治医科大学附属病院		

推薦委員会名

役職名	氏名	施設名
委員長	吉田登美恵	佐野厚生総合病院
委員	小山喜代美	獨協医科大学病院
委員	落合有美	壬生町役場
委員	八木沢幸恵	国際医療福祉大学病院
委員	加藤貴美子	自治医科大学附属病院
委員	高川真紀	済生会宇都宮病院
委員	小野澤典子	栃木県立衛生福祉大学校

常任委員会名

	役職名	氏名	施設名
社会経済福祉委員会	担当理事	杉本友子	那須中央病院
	委員長	乾寛美	獨協医科大学日光医療センター
	委員	大嶋栄子	上都賀総合病院
	委員	加藤洋子	栃木県立リハビリテーションセンター
	委員	鈴木由香	とちぎメディカルセンター総合保健医療支援センター
	委員	櫻井秀実	藤井脳神経外科病院
	委員	小高典子	烏山健康福祉センター
教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	廣瀬由美	自治医科大学附属病院
	委員	飯野佳美	獨協医科大学病院
	委員	須永恭子	獨協医科大学附属看護専門学校
	委員	高岩和枝	とちぎメディカルセンターとちのき
	委員	高橋知怜	国際医療福祉大学病院
	委員	手塚理伊子	済生会宇都宮病院
	委員	碓井真理子	小山市役所
	委員	落合淳子	西方病院
	委員	玉村尚子	獨協医科大学看護学部
保健師職能委員会	委員	落合香織	新小山市市民病院
	委員	塙晶子	上都賀総合病院
	委員	野原恵	県南健康福祉センター
	委員	福田恭子	獨協医科大学日光医療センター

地区支部長名

地区名	氏名	施設名
宇都宮	小林阿由美	済生会宇都宮病院
県西	井上和子	日光市民病院
県東	三橋明美	芳賀赤十字病院
栃木	福田裕美子	とちぎメディカルセンターしもつが
小山	山口美奈子	新小山市市民病院
県北	井上文子	那須赤十字病院
安足	勅使河原由江	足利赤十字病院

職能委員会名

	役職名	氏名	施設名
保健師職能委員会	委員長	田沼かおり	栃木県県南高等看護専門学校
	委員	大友昌子	宇都宮市役所
	委員	大柿恵里奈	安足健康福祉センター
	委員	金澤優子	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
	委員	高橋由紀子	栃木産業保健総合支援センター
	委員	戸村美佳	日光市役所
	委員	小倉優子	足利市役所
	委員	加藤早央里	上三川町役場
委員	齋藤雅美	県北健康福祉センター	
委員	福島幸恵	栃木県精神保健福祉センター	



	役職名	氏名	施設名
広報委員会	担当理事	山口久美子	獨協医科大学看護学部
	委員長	八木澤千晶	今市病院
	委員	小倉敏満	栃木県立岡本台病院
	委員	橋口ユミ	済生会宇都宮病院
	委員	門沢里栄子	県西健康福祉センター
	委員	高橋真弓	獨協医科大学日光医療センター
	委員	中田律子	新小山市市民病院
	委員	長谷部明子	芳賀赤十字病院
災害看護委員会	担当理事	向田千津	佐野厚生総合病院
	委員長	寺崎順子	獨協医科大学病院
	委員	池田起江	芳賀赤十字病院
	委員	直井みつえ	済生会宇都宮病院
	委員	佐藤麻由美	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
	委員	飯田久子	自治医科大学附属病院
	委員	舟木純子	足利赤十字病院
	委員	狩野満里	那須赤十字病院
医療安全対策推進委員会	担当理事	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
	委員長	宮原秋	栃木県立がんセンター
	委員	相場雅代	自治医科大学附属病院
	委員	岡野真弓	上都賀総合病院
	委員	永山真弓	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	金澤聖子	済生会宇都宮病院
	委員	前原恵	足利赤十字病院

特別委員会名

	役職名	氏名	施設名
認定看護管理者教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	金子昌子	獨協医科大学
	委員	菊池範江	那須赤十字病院
	委員	福田順子	自治医科大学附属病院
	委員	石田龍子	とちぎメディカルセンターとちのき
	委員	塚本友栄	自治医科大学看護学部
	委員	平澤靖子	済生会宇都宮病院
	専任教員	大竹信子	自宅
	専任教員	野本伊江子	公益社団法人栃木県看護協会
	訪問看護教育委員会	担当理事	渡邊芳江
委員長		小藺江一代	わくわく訪問看護ステーションおやま
委員		手塚純子	獨協医科大学病院
委員		小堀千絵	西那須野マロニエ訪問看護ステーション
委員		田崎綾乃	うつのみや訪問看護リハビリステーションにこっと
委員		荒井真紀	とちぎ訪問看護ステーションみぶ
委員		三柴友美	栃木県保健福祉部健康増進課 難病対策担当

	役職名	氏名	施設名	
実習指導者講習会委員会	担当理事	片寄典子	栃木医療センター附属看護学校	
	委員長	芳賀篤子	栃木県立衛生福祉大学校	
	委員	仁平英恵	芳賀赤十字病院	
	委員	印南裕子	国際医療福祉大学塩谷病院	
	委員	大澤弘子	自治医科大学附属病院	
	委員	豊田早苗	獨協医科大学病院	
	看護大会準備委員会	委員長	増淵美樹	宇都宮市保健センター
		委員	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
		委員	山口久美子	獨協医科大学看護学部
		委員	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
委員		渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会	
委員		田沼かおり	栃木県南高等看護専門学校	
委員		田中純	自治医科大学附属病院	
委員		小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター	
委員		鈴木太	氏家病院	
委員		持田益身	マロニエ医療福祉専門学校	
新人看護職員応援研修委員会	委員	金子美和	今市病院	
	委員	服部和子	栃木県立衛生福祉大学校	
	委員	白石大	栃木県立岡本台病院	
	委員	吉澤由美子	佐野市民病院	
	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会	
	委員長	安西典子	自治医科大学附属病院	
	委員	前澤信子	芳賀赤十字病院	
	委員	高橋りか	藤井脳神経外科病院	
	委員	落合紀代美	とちぎメディカルセンターしもつが	
	委員	佐藤由貴	菅間記念病院	
栃木県看護学会企画委員会(栃木県看護学会準備委員会)	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会	
	委員長	山口久美子	獨協医科大学看護学部	
	委員	亀田美智子	自治医科大学附属病院	
	委員	村上礼子	自治医科大学看護学部	
	委員	森川純子	獨協医科大学日光医療センター	
	委員	反保広美	済生会宇都宮病院	
	委員	發田茂美	国際看護介護保育専門学校	
	委員長	井戸沼由美子	那須赤十字病院	
	委員	境敏一	報徳看護専門学校	
	委員	早川美幸	足利赤十字病院	
栃木県看護学会準備委員会	委員	藤嶋淳子	済生会宇都宮病院	
	委員	松浦弘子	とちぎメディカルセンターとちのき	
	委員	山口美奈子	新小山市市民病院	
	委員	山崎猛	上都賀総合病院	

特集 今年の各委員会事業計画

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 田沼 かおり



保健師のネットワーク強化及び現任教育の推進

保健師職能委員は、行政（県・市町）、産業、教育機関に所属している保健師で構成され、それぞれの職能委員の強みを生かした活動を心がけたいと思います。コロナ禍で感染症対応に力を注ぎながらも、「今、求められる保健師の役割は何か」を考え、柔軟な活動を推進しています。

主な事業としましては、職域を超えた保健師の連携強化のためのネットワーク事業です。4団体（市町保健師業務研究会、とちぎ産業看護研究会、全国保健師長会栃木県支部、栃木県職保健師会）との意見交換会を企画しました。

また、保健指導のスキルアップをめざし、「保健指導ミーティング（実践力アップ事例検討会）」を実施いたします。気軽に参加できる内容となっており、交流や癒しの場となるようなプログラムを計画しています。あわせて、本事業は今年度で10回目となり、事業の評価に着手し現場の保健師と共に「現任教育」の課題等を共有していきたいと考えています。皆様のご参加・ご協力をお願い致します。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 田中 純



助産師職能委員会の活動計画

産後うつや虐待が社会問題となっている一方で、COVID-19 感染症予防対策のため入院中の面会制限などが続いており、出産や育児に不安を抱えている母親たちが多くいます。気持ちを理解し、少しでも寄り添うケアができる助産師の活動が望まれています。看護実践力を高められるよう、前期に「乳房ケア、母乳育児支援」、後期に「アロマを用いたハンドケア」の研修を企画しました。是非スキルアップにご利用ください。この研修では、新人助産師を含め、周産期に関わる職場で仕事をされている助産師・保健師・看護師の方が施設間で交流を深められることも目的としていますので、多くの方の参加をお待ちしています。

1月には「母子のための地域包括ケアシステム～妊娠期から切れ目ない支援～」について交流集会を企画しています。アドバンス助産師や管理者など多くの方の参加をお待ちしております。また、看護協会のホームページに助産師だより「ミッドワイフトーク」を掲載しておりますのでそちらも是非ご覧ください。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 小倉 佳子



看護職が地域の中で役割発揮するために

看護師職能委員会では、今年度の日本看護協会の方針にある、病院における若手看護師の就業継続に関する情報収集を行います。また、社会における看護師の役割を発揮するための研修を病院領域、在宅領域ごとに企画しています。看護師職能Ⅰ病院領域では、コロナ対応をしてきた方々に実際の活動や管理についての報告や課題についてお話いただけます。看護師職能Ⅱ在宅領域では、看護管理者の課題である施設における安全管理に関する情報提供及び、ディスカッションによる課題抽出を行います。そして、領域ⅠとⅡ合同では、地域完結型医療を目指す地域包括ケアシステムについての内容を予定しています。

研修会や講演会を、情報収集・ディスカッションの場としてご活用いただきたいと思います。

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 乾 寛美



～いきいきと働き続けるための職場づくりと看護協会会員拡大～

社会経済福祉委員会は、看護師の労働環境条件の充実・向上と看護協会会員の定着・拡大を目的に活動をしています。

コロナ禍やウクライナ危機において医療・看護へのニーズが高まる中で、看護職の役割は大きくなっていきます。今年度の研修として「魅力ある職場づくりを！」では、働き方改革で自分たちからできること、楽しく働き続ける職場環境について考えていきます。「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」では、個人の多様性を認め合い、看護職個人の持続可能な働き方の実現を推進するため、就業継続が可能な労働環境作りを目的としています。皆様の参加をお待ちしております。

令和4年3月31日現在栃木県看護協会会員数は、12,407人です。看護職がいきいきと働き続けられる職場環境づくりや栃木県看護協会入会の推進及び会員特典のPRを実施し、会員定着と拡大に向けて取り組んでいきます。

教育委員会

教育委員長 廣瀬 由美



社会の変化やニーズに即応した教育研修の開催を目指して

教育委員会では、看護職がそれぞれの立場で、保健・医療・福祉のニーズの多様化、複雑化に柔軟に対応でき、適切な実践に活かせる研修を企画・運営しています。社会の変化に即応した新しいテーマや、ニーズの高い研修を取り入れるため、毎年研修の見直しを行っています。JNA ラダーを導入し、JNA ラダーの指標と自身の看護実践習熟段階を対比させることができるようにしました。自身に「必要な研修」や「学びたい研修」を選択し、学びを実践に活かし、より質の高い看護に繋げていただきたいと思います。

今後も、新型コロナウイルス感染症の予防策を講じながら研修を開催していきます。今年度よりオンライン研修を導入し、個々の環境に応じて「Zoom 専用」と「サテライト会場」を選択することができるようになりました。皆様が安全に安心して受講できるよう研修環境を整えていきます。

皆様からのご意見を大切にしながら、要望に応えられるよう、研修を企画・運営していきたいと考えています。

広報委員会

広報委員長 八木澤 千晶



～看護活動の発信と読みやすい広報紙を目指して～

広報委員会の主な活動は、年4回発行広報紙「看護とちぎ」企画・校正・取材・編集を行っています。会員の皆様や関係者、ならびに地域住民に向けて栃木県看護協会の活動内容や健康の維持・増進を目指す事を目的として活動している委員会です。

掲載内容としては教育研修報告・各施設の取り組み・医療安全ニュースなど多様な内容となっています。また地域の方々に向け、今知っておきたい健康に関する情報も掲載しています。

新型コロナウイルスの影響もありますが、感染予防対策を行いながら総会や研修会が開催されています。看護活動がより多くの人に伝わり、また旬な情報が提供出来るように発信していきたいと思えます。研修報告や施設の取り組みなどで執筆依頼をお願いさせていただく時には、ご協力お願いいたします。

災害看護委員会

災害看護委員長 寺崎 順子



コロナ禍における災害看護委員会活動計画

暑さが厳しい中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日々健康に気を使いながら過ごされていることと思います。1日も早いコロナの終息を願わずにはられません。

さて災害看護委員会は、本年度も感染予防策を講じながら、災害支援ナースの第一歩としての基礎編と養成育成・継続研修を実施致します。災害支援ナースを育成し、災害発生時の支援体制の充実に努めていきたいと思えます。そして本年度は栃木県・栃木市総合防災訓練が2022年12月11日に栃木市総合運動公園で開催される予定です。栃木県看護協会としてはコロナ禍により、2年間中止となったため、参加できていませんでした。参加の際は各施設からの災害支援ナースの協力をお願い致します。昨年度コロナ禍を考慮し、パルスオキシメーターや医療用ゴーグルなど、災害支援ナース活動時の物品を準備しました。委員会では、今後も状況に合わせた備品の管理を行っていきます。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 宮原 秋



患者さんも医療者も安心して安全な医療の場を目指して

医療安全対策推進委員会は、医療安全活動の普及や医療安全管理者の活動を支援することを目的とした委員会です。今年度の企画第一弾は、9月17日の「世界患者安全の日」に関連し、「医療安全推進キャンペーン」として、暴言・暴力・ハラスメント対応研修を行います。また、多施設から要望が聞かれた「日本看護協会主催医療安全管理者養成研修」に初登録し連携開催いたします。企画第2弾は、11月25日の「医療安全推進週間」に関連し、「医療安全管理者フォローアップ研修」として、医療安全と臨床倫理、対話推進をテーマに研修を行います。コロナ禍における医療の提供や面会制限、意思決定支援、身体抑制など、患者と医療者を繋ぐ役割を担う看護職だからこそ直面するジレンマや倫理的課題に悩んでいませんか。専門分野の講師を迎え、患者も医療者も安心安全な医療の場を共に考え、共に学びたいと思えます。

また、今後も協会機関誌「看護とちぎ」へ「セーフティシェアリング」の情報配信を行い、更なる県内の医療安全の均てん化や向上に努めていきます。

5月11日(水)、日本看護協会のラッピングバスが、県庁に来ました！ 出発式後、当協会のラッピングバスとともに宇都宮市内を周回しました。



記念写真撮影（とちまるくんといっしょに）



テープカット（2台のバスの間で）



PRのため宇都宮市内に出発（当協会のバスが先導）

日本看護協会では、若年層に向けて看護の仕事や魅力をアピールするため、2021～24年度の4か年をかけて、全国を4地区に分け「看護の日・看護週間」を中心に、「看護の日」ロゴマークなどをデザインしたラッピングバスを運行して「看護の日」事業をPRしています。

そのラッピングバスが、5月11日(水)、栃木県庁昭和館前にやってきました。

当協会では、令和2(2020)年1月から、関東バスの路線バスで、全面にラッピング広告したバスを運行させていますが、この当協会のバスを日本看護協会のバスと併せて活用し、「看護の日・看護週間」をPRすることにしました。

同日開催された看護大会終了後、PRバスの出発式を行いました。出発式には、仲山信之栃木県保健福祉部長様をはじめ、看護関係団体の来賓の方々をお招きし、理事の皆様とともに記念写真撮影の後、テープカットをし、宇都宮市内を周回のため出発する2台のバスを大きな声援とともに送り出しました。

なお、この日の看護大会とPRバス出発式の様子は、テレビ局、新聞社で報道されましたので、当協会ホームページ5月13日付けの到着情報でご覧いただけます。



看護の日

看護の心をみんなの心に

令和4年度栃木県訪問看護教育ステーション事業 (R4.4/1～R5.3/16)

安足地区とちぎ訪問看護ステーションあしかが

〈主な内容〉

- ① 訪問看護ステーション体験・研修（随時受付）
- ② 相談事業（月・火・水・金/9:30～12:30）（随時受付）
- ③ 訪問看護に関する勉強会の開催（お問合せ下さい）
- ④ 地域の訪問看護ステーション連携会議の開催
（対象：安足地区訪問看護ステーション管理者）

〈お問合せ先〉



とちぎ訪問看護ステーションあしかが

☎0284-22-7366 担当 宇佐見

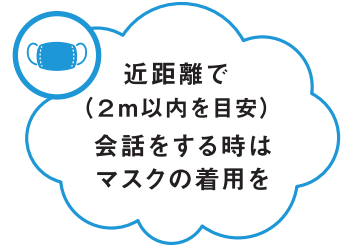


熱中症予防 × コロナ感染防止

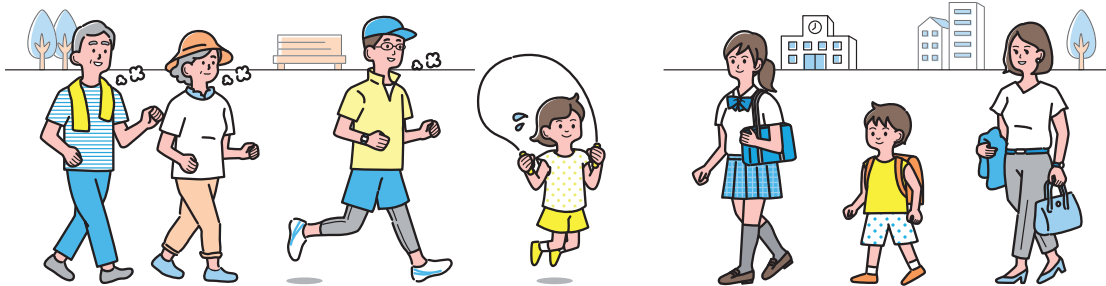
熱中症を防ぐために 屋外ではマスクをはずしましょう

屋外ではマスク着用により、熱中症のリスクが高まります

特に運動時には、忘れずにマスクをはずしましょう



屋外での散歩やランニング、通勤、通学等も
マスクの着用は必要ありません



- ・人の距離 (2m以上を目安) が確保できて、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。
- ・マスクを着用する場合でも、屋内で熱中症のリスクが高い場合には、エアコンや扇風機、換気により、温度や湿度を調整して暑さを避け、こまめに水分補給をしましょう。



熱中症に関する
詳しい情報
(環境省HP)



新型コロナウイルス
感染症に関する情報
(厚生労働省HP)



(一般用)



(子ども用)

感染症対策におけるマスクの着用について



暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- ・1日あたり **1.2L(1.2リットル)**を目安に
- ・コップ約6杯
- ・1時間ごとにコップ1杯
- ・入浴前後や起床後もまず水分補給を
- ・大量に汗をかいた時は**塩分**も忘れずに

エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど**2か所**を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)
- ・水分補給は忘れずに!
- ・毎朝など、**定時の体温測定と健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**

知っておきたい 熱中症に関する大切なこと

**熱中症警戒アラート発表時は
熱中症予防行動の徹底を!**

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別／熱中症死亡者の割合

15歳～44歳	1.8%
45歳～64歳	11.8%
65歳～79歳	37.0%
80歳以上	49.1%
5歳～14歳	0.1%
0歳～4歳	0.1%
不詳	0.1%

出典：厚生労働省「人口動態統計(2020年)」

熱中症による死亡者の約9割が高齢者

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別／熱中症患者の発生割合

年齢	発生場所	割合
65歳以上	自宅	約50%
	道路・駐車場	約50%
19～64歳	作業中	約50%
	学校	約50%
7～18歳	運動中	約50%
	学校	約50%
0～6歳	公共出入場所	約50%
	その他・不詳	約50%

出典：国立環境研究所「熱中症患者者速報(2015年)」を基に作成

高齢者の熱中症は半数以上が自宅で発生

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障がいをお持ちの方は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



ナースセン

令和4(2022)年度 ハローワークにおける **看護職の就職相談**

栃木県ナースセンターの看護職相談員が、**就職**や**進学**の相談、仕事の悩み等を伺います。
お気軽にご利用ください！

相談時間 13時30分～15時30分(最終受付 15時15分)
※相談時間は、お一人30分程度になります。(当日申込可、予約優先)

料金 無料

「看護職の就職相談」は雇用保険の求職活動実績になります。

会場	相談日	申込先
ハローワーク宇都宮 (ナースセンター・ハローワーク連携事業)	4/20(水) 5/18(水) 6/15(水) 8/17(水) 9/21(水) 10/19(水) 11/16(水) 12/21(水) 2/15(水)	ハローワーク宇都宮 電話：028-638-0369
ハローワーク宇都宮 駅前プラザ	7/19(火) 1/17(火) 3/14(火)	栃木県ナースセンター 電話：028-625-3831
ハローワーク大田原	7/27(水) 1/25(水) 3/22(水)	
ハローワーク小山	7/20(水) 1/18(水) 3/15(水)	

※新型コロナウイルスの状況により、変更する場合があります。

令和4(2022)年度 **セカンドキャリア周知セミナー**

対象

個人向けセミナー

- プラチナナース(定年退職前後の看護職等)
- セカンドキャリアを考えたい看護職
- 再就業を希望する未就業看護職

個人向けセミナーⅠ 充実したセカンドライフを過ごす

日時：8月23日(火)、10月27日(木)、1月18日(水)
9:30～12:30(受付9:00～)

- 内容：◆公的年金のしくみ
～60歳以降も年金をかけるメリット～
◆看護職としてのセカンドキャリアを考えよう！
～自己理解とキャリアプラン～

個人向けセミナーⅡ 私らしく働こう！

日時：9月15日(木)、12月2日(金)
13:00～15:00(受付12:30～)

- 内容：◆看護職としての多様な働き方
◆事例紹介 私のセカンドキャリア
◆質疑応答・情報交換
◆栃木県ナースセンターにおける
セカンドキャリア支援 等

施設向けセミナー

- 看護管理者、人事・採用担当者等

**受講料
無料**

施設向けセミナー プラチナナースを職場の力に！

日時：11月5日(土)、2月18日(土)
10:00～12:00(受付9:30～)

- 内容：◆プラチナナースの雇用のポイント
～働き続けられる職場づくり～
◆事例紹介
プラチナナースを職場の力に！ 等

会場 とちぎ健康の森 大会議室
定員 各回20名程度
託児 一部託児あり。先着順。
ご希望の方は事前にお電話(無料)

申込期限 各開催日の7日前
申込方法 ・所定の参加申込書を記入の上、栃木県看護協会へメール、FAX、郵送のいずれかの方法で申込む
・栃木県看護協会の研修システムから



タ ー 通 信



※ 栃木県ナースセンター事業は、栃木県委託事業です。

令和4(2022)年度 看護職員再就業支援研修

受講料
無料

対 象 ●キャリアチェンジを見据えた再就業を希望するプラチナナース（定年退職後の看護職等）の方
●再就業を希望する未就業の方 ●再学習を希望する就業中の方 ※申込み多数の場合は再就業を希望する方を優先

内 容

病院・診療所・介護系施設 編	
急変時の看護 (動画配信あり)	介護施設における看護職の役割 (動画配信あり)
感染対策の基礎知識	摂食・嚥下の基礎知識
褥瘡予防	認知症看護
看護記録 (動画配信あり)	口腔ケアと安全な吸引 (演習あり)
薬物療法・採血 (演習あり)	

在宅看護 編 (訪問看護師養成講習会の一部聴講)
訪問看護過程の展開
多職種連携で進める 地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割 災害時の薬剤師の役割
訪問看護を反映する 診療報酬について

定 員 ●各コマ20名程度 ●各開催日の7日前
●動画配信の視聴は各コマ80名程度 ●動画配信の視聴の申込みは12月1日～1月11日

申込方法 ●所定の参加申込書を記入の上、栃木県看護協会へメール、FAX、郵送のいずれかの方法で申込み
●動画配信の視聴は栃木県看護協会ホームページの研修システムから申込み

託 児 先着順。ご希望の方は事前にお電話ください(無料) ※日程及び会場は栃木県看護協会ホームページをご覧ください。

看護に関するご相談は

栃木県ナースセンターへ!

ナースセンターは看護職のサポーターです!

- ◆ 無料の職業紹介
- ◆ 就職や進路相談
- ◆ 仕事の悩み相談
- ◆ 復職を支援する研修等の案内 等

経験豊かな看護職の相談員が対応いたします。お気軽にご利用ください。

無料の職業紹介サイト「eナースセンター」をご利用ください!

eナースセンターは、各都道府県ナースセンターで行っている無料職業紹介をインターネット上に展開したものです。ご登録いただくと、お仕事探しや人材探しが可能になります。

ご登録はこちら▼



● 求職者の方
● 求人施設の方

- 仕事をお探しの看護職の方
- 看護職を目指す学生の方
- 看護職を採用したい求人施設の方



お問い合わせ先

公益社団法人栃木県看護協会 栃木県ナースセンター (受付: 平日 9時~16時)
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階
電話 028-625-3831 または 6141
H P http://www.t-kango.or.jp





味自慢

アレンジできる かんたん鶏のトマト煮



●材 料(2人分)

鳥もも肉	2枚	塩・コショウ	少量
玉ねぎ	中1個	食用油	少量
ピーマン	小3個	コンソメキューブ	1個
赤パプリカ	1個	レトルトカットトマト	1袋(2人分)

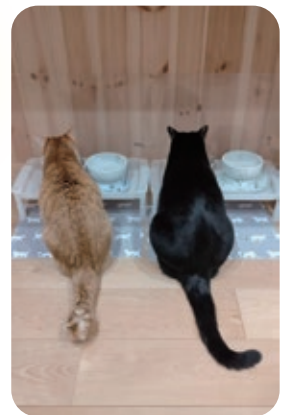
●作り方

- 1 野菜は食べやすい大きさにカットする。肉は一口大にする。
- 2 フライパンに油をひき、肉を皮側から焼く。玉ねぎ、赤パプリカ、ピーマンの順で炒め、塩コショウで薄めの味付けをする。カットトマトとコンソメキューブ1個を入れて10分くらい弱火で煮る。
- 3 味を見て足りない時は塩かコショウで整える。

わたしの
on-off

癒しの時間

甥や姪から送られてくる、
わんちゃん猫ちゃんの
写真や動画に
癒やされています。



提供者：Y

表彰おめでとうございます

日本看護協会長表彰
日本看護協会長表彰
日本看護協会長表彰

糟谷真知子様
高橋美知子様
中河原幸子様

広報担当委員交代

広報
委員長



八木澤 千晶

新委員
4名



中田 律子



門沢 里栄子



高橋 真弓



長谷部 明子

栃木県看護協会

入会のご案内・会員各種
手続きは **コチラ** ➡



編集後記

今年は、梅雨明けと同時に猛暑に突入いたしました。
そろそろ夏の疲れが出てくる頃ですので、体調管理に留意しましょう。 橋口